

ドラマコネクト第一弾、2028 年 4 月公演『最愛の人』 全キャストオーディション 詳細決定！！

上村聡史芸術監督が就任とともに掲げた指針の一つである「新しい才能との出会い」に基づき始動したプロジェクト「ドラマコネクト」。第一弾となる 2028 年 4 月公演に向け、26 年 5 月より劇作家の公募を実施いたしましたところ、94 名のご応募をいただきました。書類選考及び面談選考を経て、本企画の劇作家として、七坂 稲氏を選出いたしました。その後、応募時のプロットを基にして、演出の五戸真理枝、芸術監督の上村聡史とともに、作品自体に加えて、今後の共同創作の観点からもブラッシュアップを重ね、この度、タイトル並びに作品概要が決定いたしました。

つきましては、本公演の全キャストオーディション（全 6 役）を開催いたします。26 年 10 月 22 日より募集を開始し、11 月から 12 月にかけてオーディションを実施いたします。合格者の方には、27 年春と秋のプロダクションワークショップへのご参加及び 28 年 4 月の本公演にご出演いただきます。皆様からのご応募、心よりお待ちしております！

作品概要

『最愛の人』

作：七坂 稲 演出：五戸真理枝

＜あらすじ＞

※現時点のプロットに基づいています。

今後の創作過程において、変更が生じる可能性があります。

田端家の父・裕一郎の三回忌前日。一通の手紙が裕一郎宛に届く。差出人は立川優香という聞き覚えのない女性からだった。だがその手紙を見た母・淳子の態度に違和感を覚えた次女の成美が、手紙を開封する。すると手紙には、優香が結婚したとの報告、そして「お腹の中には新しい命が——お父さんの孫です」と綴られていた。長女の孝子と長男の英人は、厳格だった父親にもう一人子どもがいたことに戸惑いを隠せない。浮気を疑い愕然とする子どもたちに対し淳子が語ったのは、裕一郎が昔、同性カップルに精子提供をしたことがあるという思いがけない事実だった。そして三回忌を終えた日の夕方、突然田端家に立川優香が現れて——。生命をつなぐ営みの慣性とその揺らぎから、人間を深く見つめる物語。

応募される皆さまに向けて

＜演劇芸術監督 上村聡史より＞

今回立ち上げる七坂稲さんの『最愛の人』は、私たちが生きる「今」の社会の可能性に希望を託した作品です。人生の選択や家族の多様な形態、そして血縁を超えた人間同士の繋がりを真

正面から捉えた劇作でもあります。

本作は決して画一的な答えを差し出すものではありません。今は亡き者の願いに思いを馳せ、これから育まれる生命の営みをどう未来へと繋いでいくのか。複雑に揺れる現代において、この深遠な問いを、俳優の肉体と対話を通して客席へと投げかけていきます。

本企画のキャストオーディションは、既成の評価やキャリアにとらわれず、作品の本質に共鳴する純粋なエネルギーと感性が出会うための開かれた場です。登場人物一人ひとりの繊細な揺らぎや心のひだに、自らの精神と肉体をもって飛び込み、演出家とともに粘り強く思考し、作品に新たな命を吹き込んでくださる俳優の皆様との出会いを切に願っております。

＜劇作家 七坂 稲より＞

以前から私は「家族」と「喪失」について考えてきました。考えれば考えるほど多様な人間の姿が浮かび上がり、書き留めることによって、家族とは何か、喪失をどう受け止めるのか、その答え探しをしているのかもしれません。今作品『最愛の人』でも、改めてそれらと向き合っていきたいと考えております。この作品に登場する家族は一見ごく普通の家族ですが、亡くなった父親が過去に行った精子提供を巡り揺らぎ始めます。この物語の主人公である母親の思いを中心に、家族の愛の形を模索したいと考えております。とはいえ、物語はまだ手垢のついていない白地図のようなものです。俳優の皆様には、家族観や生命観について皆様のご経験や考えをお寄せいただき、どんな道を辿りどこへ向かうのかは未定ですが、『最愛の人』という作品と一緒に作り上げていただきたいと考えております。ご応募をお待ちしております。

七坂 稲 プロフィール

1976 年、福岡県生まれ。兵庫県在住。子供のころから演劇やミュージカルに興味を持ち、95 年に市民参加型演劇に参加、演劇活動を開始。97 年、神戸の劇団どろが主催する演劇塾「どろんご塾」に入塾。卒塾後は、劇団の公演に主にスタッフとして参加。その傍ら、自主公演にて『兵士』を執筆、演出も務めた。2003 年に劇団どろを退団。以降、演劇からは離れていたが、執筆活動は継続。19 年『たらちねの僕』が「日本の劇」戯曲賞 2019 の最終選考に残る。21 年『再生』が「日本の劇」戯曲賞 2021 佳作に選出、『蒸気』が第 4 回田畑実戯曲賞の最終選考に残る。23 年『六畳間と女神様』が「日本の劇」戯曲賞 2022 の最終選考に残る。同年『迷惑な客』で第 10 回北海道戯曲賞の大賞を受賞。24 年『海ではないから』が「日本の劇」戯曲賞 2024 佳作に選出。23 年には演劇ユニット「H.H.G+」が『たらちねの僕』を九州・東京で上演している。

＜演出家 五戸真理枝より＞

本作『最愛の人』では、親の視点からも、子どもの視点からも、命や、生きていくことと向き合う時間が描かれます。人類はその歴史の始まりから、喜びも悲しみも、さまざまな葛藤も抱えながら命をつないできました。現代の日本では、家族の形は多様化し、結婚を望まない人も増えています。少子化が進む一方で、不妊治療など生殖医療の技術は発達しています。しかし、子どもを持ちたいという願いが、誰にでもかなえられるわけではありません。

とても身近でもあり、とても繊細でもある物語を前に、人間のどんな瞬間をどのように描くのか。作品に集う皆さまの感性や発想を活かしながら、視点や方法を探り、作品を練り上げ、立ち上げていきます。それぞれの人物にどう命を吹き込み、キャラクターを際立たせていくか。そしてどのように演じるか。俳優の皆さまには、肉体と精神による想像力を積極的に持ち寄っていただきたいと考えています。物語をゆっくりと育てる過程は、アイディアを持ち込むだけでなく、受け止める時間でもあると思います。皆が同じ創作の地平に立って作り上げる作品です。人間の姿を一緒に探してくださる皆さまをお待ちしております。

五戸真理枝 プロフィール

小劇場での活動を経て、2005年、文学座付属演劇研究所に45期生として入所。10年、座員に昇格。演出助手などとして座内の多数の公演に関わる。16年、文学座アトリエの会、久保田万太郎作『舵』で初演出。近年の主な演出作品は、『おやじの瓢箪』、ミュージカル『十二人の怒れる男』、『アルルの女』、『狼と狐との物語/人魚の海』、『もうひとりのわたしへ』、『わたしの紅皿』、『石を洗う』、『おきなわ』、『アラビアンナイト』、『マクベスの妻と呼ばれた女』、『兵卒タナカ』、『女学者たち』、『桜の園』など。演出のほか、戯曲や童話の執筆も手掛ける。23年、『貴婦人の来訪』（新国立劇場）、『コーヒーと恋愛』（アトリエの会）、『毛皮のヴィーナス』（世田谷パブリックシアター）の演出で、第30回読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。新国立劇場では『貴婦人の来訪』『どん底』の演出のほか、『オレスティア』『城塞』に演出助手として参加。27年5月に『Ruined 奪われて』を演出予定。

企画及び公演概要

ドラマコネクト 第一弾 『最愛の人』

作：七坂 稲 演出：五戸真理枝

▷プロダクションワークショップ①：2027年3月22日～26日(予定)

▷プロダクションワークショップ②：2027年8月9日～15日、

または8月22日～28日(共に予定)

▶公演日程：2028年4月公演(予定) ※5月中、全国公演の可能性あり

▶稽古日程：2028年2月下旬稽古開始予定 於：新国立劇場内リハーサル室

▶公演会場：新国立劇場 小劇場 ほか

オーディション概要

1. 募集する役(役名・年齢設定)

・田端淳子(タバタ ジュンコ) 63歳 **グループ A**

二年前に他界した夫、裕一郎とは銀行で出会い結婚。出産を機に退職。育児、家事に追われた。今はスーパーでパートをしている。姉がいて、時々電話をしている。穏やかな性格。60歳を超えてから、全国通訳案内士の資格取得のための勉強を始め、ツアーガイドになるという夢を持っている。

・田端孝子（タバタ タカコ） 40歳

グループ A

長女。銀行員。総合職。活動的な性格で、白黒はっきりさせたいタイプ。人に厳しい態度を取りがちである。仕事に生きがいを感じている。声優の推し活をしている。離婚した経験あり。子どもは出来なかった。

・田端英人（タバタ ヒデト） 37歳

グループ B

長男。元銀行員。父の影響を受け、銀行に入行した。融資にかかわっていたが、同僚が客をバカにする態度に嫌気がさしていたこともあり、裕一郎の死後、銀行を辞めた。おとなしいタイプで、あまり自分の意見をはっきりと言えなかった。競馬にはまり、時々裕一郎の遺品を売り資金を得ている。

・田端成美（タバタ ナルミ） 32歳

グループ A

次女。文化人類学者。大学の時にメキシコに留学し、先住民族に興味を抱く。それ以来、幾度となく北中米ヘフィールドワークに出かけて取材をしている。今はその体験を本にまとめようと執筆中。人当たりがよく、臨機応変なタイプ。

・坂本圭太（サカモト ケイタ） 29歳

グループ B

成美の彼氏。パチンコ屋でアルバイトをしている。一年半ほど前、定食屋でたまたま隣り合わせになった成美と意気投合し、付き合うことになった。千葉県出身。シンガーソングライターを目指し上京。

・立川優香（タチカワ ユウカ） 24歳

グループ A

裕一郎からの精子提供により生まれた、女性同士の同性カップルの娘。裕一郎の存在を子どものころから聞かされてはいたが、実際に会ったのは二十歳のころ。自身の妊娠がわかって、裕一郎の存在をありがたいこととを感じるようになり手紙を送った（裕一郎が亡くなっていたのを知らなかった）。落ち着き堂々とした性格。

役としての年齢設定に関わらず、「4. 応募資格」を満たす方はどなたでも応募可能です。

2. 募集期間

2026年10月22日(木)～11月10日(火)

3. オーディション期間

2026年11月21日(土)～12月13日(日) 会場：新国立劇場内 リハーサル室など

一次選考：2026年11月21日(土)～22日(日)、11月26日(木)～30日(月)

二次選考：2026年12月4日(金)～12月8日(火)

三次選考：2026年12月11日(金)～12月13日(日)

4. 応募資格

- ・18歳以上の方
- ・経験不問
- ・上記の一次選考期間の内、最低でも3日間は参加可能な方
- ・上記の二次選考期間の内、最低でも2日間は参加可能な方

- ・上記の三次選考期間の全日程に参加可能な方
- ・プロダクションワークショップ①：2027年3月22日～26日(予定)に参加可能な方
- ・プロダクションワークショップ②：2027年8月9日～15日、または8月22日～28日(共に予定)に参加可能な方
- ・2028年2月下旬開始予定の稽古から、5月末までの本番すべてに参加可能な方

上記すべてを満たすことが応募資格となります。

5. 選考方法

書類選考

日 程：2026年11月13日(金)～11月14日(土)

選考結果：11月17日(火)22:00までに メールにてお送りします。

選考通過者には一次選考スケジュールもお送りします。

一次選考【実技審査(グループオーディション)】

対 象 者：書類選考通過者

日 程：2026年11月21日(土)～22日(日)、11月26日(木)～30日(月)

※一次選考期間の内の1～2日、2時間程度のグループオーディションにご参加いただきます。

※オーディション日程を円滑に組むため、最低でも3日間は参加可能日をお知らせください。

内 容：自分で書いたモノローグをご自身で演じていただきます。(2分以内)

●モノローグのテーマは書類選考結果と共にお知らせします。

●セリフの文章としての完成度は問いません。

選考結果：12月1日(火)22:00までに メールにてご連絡いたします。

二次選考【実技審査(グループオーディション)】

対 象 者：一次選考通過者

日 程：2026年12月4日(金)～12月8日(火)

※二次選考期間の内の1～2日、2時間程度のグループオーディションにご参加いただきます。

※オーディション日程を円滑に組むため、最低でも2日間は参加可能日をお知らせください。

選考結果：12月9日(水)22:00までに メールにてご連絡いたします。

三次選考【実技審査(グループオーディション)】

対 象 者：二次選考通過者

日 程：2026年12月11日(金)～12月13日(日)

※グループオーディションのため全日程参加可能であることが望ましいです。

選考結果：12月14日(水)までに メールにてご連絡いたします。

＜メール受信設定のお願い＞

選考結果、選考スケジュール、使用テキスト等は下記メールアドレスからお送りします。
メールが受信できるように設定をお願いします。

＜新国立劇場 制作部演劇『ドラマコネクト』オーディション係＞

nntt_drama_audition@nntt.jac.go.jp

6. 応募方法

① 下記より応募者登録をお願いします。

グループ A <https://nntt.form.kintoneapp.com/public/dramaconnect-1st-2-castad-a>

グループ B <https://nntt.form.kintoneapp.com/public/dramaconnect-1st-2-castad-b>

↓

② 下記をメールにてお送りします（エントリーシート、プロットはダウンロードURL送付）。

- ・エントリー番号(5桁)
- ・エントリーシート
- ・『最愛の人』プロット ※2026年9月22日時点のプロット

↓

③ 「エントリーシート」に、ご記入・写真貼付けの上、期限までの**郵送**をお願いします。

＜応募〆切、郵送先＞

応募〆切：2026年11月10日(火) **必着** ※**郵送受付のみ（オンライン・メール受付なし）**

郵送先：〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1

新国立劇場 制作部演劇『ドラマコネクト』オーディション係 宛

【注意点】

※必ず「**エントリー番号(5桁)**」をご記入ください（各ページ上部に1か所ずつ、計2箇所）。

※印刷時は必ず、**A4サイズ**の**片面印刷**をお願いします。両面印刷は**禁止**、ホチキス止め・クリップ止め等も**禁止**です。

※エントリーシートに**不備、記入漏れ**があった場合は、書類選考の対象外となります。

※内容について問合せをさせていただく場合がございますので、

コピー・写真等で控えをとり、お手元にお持ちいただくようお願いいたします。

7. 選考者

演出：五戸真理枝、作：七坂 稲、公演担当プロデューサー

※七坂 稲は三次選考のみの参加となります。

8. 参加手当、出演料

・プロダクションワークショップへのご参加に対して、「参加手当」をお支払いいたします。

・公演へのご出演に対して、経験・実績等に応じた「出演料」をお支払いいたします。

※具体的な条件・金額につきましては、選考通過者の方に個別にご案内・ご提示いたします。

9. 個人情報の保護について

「個人情報の保護に関する法律」に基づき、
本オーディション応募者の個人情報は下記用途のみにて使用させていただきます。

- ア) 選考試験に関する判定のため。
- イ) 審査に関する連絡のため。
- ウ) 選考結果の通知のため。
- エ) 上記のほか法令等に基づく必要な取り扱いを行うため。

また、オーディション終了後、エントリーシートは破棄いたします。

10. 注意事項 必ずお読みください。

[郵送について]

- ・郵便料金不足で届いた場合、受け取り(料金負担)は致しかねます。ご注意ください。
ここ毎年、郵便料金の改定が続いています。料金不足がないよう発送前にご確認ください。

[実技審査参加時について]

- ・体調不良や発熱（37.5℃以上）、感染症等が疑われる場合は、ご来館をお控えください。
- ・すべての実技審査において、ハラスメント防止取り組みの一環としてビデオによる記録を行います。記録はオーディション終了後、14日間を過ぎた時点で削除します。

新国立劇場「ハラスメント防止の取り組み」は[こちら](#)

11. 問合せ先

新国立劇場 制作部演劇『ドラマコネクト』オーディション係

TEL : 03-5352-5845 [平日11 : 00~18 : 00]

E-mail : nntt_drama_audition@nntt.jac.go.jp

[よくあるご質問] ⇒ [PDF](#)